

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時；重機6台が稼働し、施設は稼働

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ 上端値	中央値	90%レンジ 下端値				
A (南)	施設停止時	8:30～ 8:40	70	66	62	×	60	60	(株)環境管理センター (2023. 5. 24)
	施設稼働時	10:40～ 10:50	83	74	69	×			
B (東)	施設停止時	8:30～ 8:40	62	59	57	×			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	80	73	67	×			
C (北)	施設停止時	8:30～ 8:40	54	50	49	○			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	65	62	61	×			
D (西)	施設停止時	8:30～ 8:40	60	59	58	○			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	62	60	59	×			

- 注1) A地点では、施設停止時・施設稼働時ともに場外車両走行音（国道357号・首都高速湾岸線）の影響を受けており、施設稼働時にヤード内の重機6台の稼働音及び場内作業音が聞こえていた。
 注2) B地点でもA地点と同様で、施設停止時・稼働時、全ての測定条件で場外車両走行音（国道357号及び首都高速湾岸線）が聞こえていた。また、北東側隣接工場の作業音の影響を受けていた。
 注3) C地点では、施設稼働時に重機6台の稼働音及び場内作業音が聞こえていた。
 注4) D地点では、A地点でもB地点と同様の影響を受けており、集塵機のエアー音が聞こえていた。

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時；重機6台が稼働し、施設も稼働

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	市川市環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ 上端値	中央値	80%レンジ 下端値				
A (南)	施設停止時	8:30～ 8:40	51	47	44	○	60	60	(株)環境管理センター (2023. 5. 24)
	施設稼働時	10:40～ 10:50	55	51	49	○			
B (東)	施設停止時	8:30～ 8:40	46	42	39	○			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	52	48	45	○			
C (北)	施設停止時	8:30～ 8:40	42	39	36	○			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	48	45	42	○			
D (西)	施設停止時	8:30～ 8:40	48	45	43	○			
	施設稼働時	10:40～ 10:50	51	48	46	○			

- 注1) 全4地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値・市川市環境保全条例基準値以下であった。

3) 作業環境測定（粉じん）結果

単位作業場所		測定項目	測定数	評価値等			管理区分	測定機関 (測定年月日)
No.	名称			幾何平均値	幾何標準偏差	管理濃度		
1	ダンピングヤード	粉じん	23	幾何平均値	M1	0.15	1	(株)環境管理センター (2023. 6. 27)
				幾何標準偏差	σ1	1.30		
				管理濃度	E	0.89		
				第1評価値	EA1	0.48		
				第2評価値	EA2	0.20		
				B測定値	CB	0.20		
2	手選別室	粉じん	13	幾何平均値	M1	0.26	1	同上 (2023. 6. 27)
				幾何標準偏差	σ1	2.34		
				管理濃度	E	1.37		
				第1評価値	EA1	1.20		
				第2評価値	EA2	0.37		
				B測定値	CB	0.45		

- 注1) 手選別室において、発生粉じんを減らすために以下の対策を実施中。
 ①コンベヤ上から発生する粉じんを減らすため、手選室前段のコンベヤにおいて湿潤化を行う。
 ②手選別室内の設備や床等に堆積した粉じんの除去（清掃）。
 ③ダンピングヤードからの粉じんの流入を防ぐため、手選別室内に設置された全てのシューター開口下段部にエアーシャワーを設置する。

4) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

4)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了年月日：(2023. 6. 01)

試料名称 (敷地周囲)	南側敷地境界 (A)	東側敷地境界 (B)	北側敷地境界 (C)	西側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2023. 5. 24	2023. 5. 24	2023. 5. 24	2023. 5. 24		
採取時間	8:57~12:57	9:02~13:02	9:06~13:06	9:14~13:14		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	6.70	5.10	9.10	10.00	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.0版)(平 成22年 環境省水・大気環 境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡 による計数法	0.056 本/L

4)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)
JSM-6390LA(日本電子製)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	南側敷地境界 (A)	東側敷地境界 (B)	北側敷地境界 (C)	西側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間	2023. 5. 24 8:57~12:57	2023. 5. 24 9:02~13:02	2023. 5. 24 9:06~13:06	2023. 5. 24 9:14~13:14	
クリソタイル		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アモサイト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
クロシドライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アンソフィライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	0	0	0	—

※本調査では、全4地点で総繊維数濃度が1.0本/L以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。4地点とも石綿(アスベスト)の検出はなかった。

4)-3 石綿(アスベスト)含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター 2023. 5. 24 9:10
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。

注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。

1) 騒音レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時；重機6台が稼働し、施設は稼働

単位：デシベル(A)

測定地点	稼働状況	測定時間	騒音レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			90%レンジ上端値	中央値	90%レンジ下端値				
A (南)	施設停止時	7:27~ 7:37	49	47	44	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2023. 4. 13)
	施設稼働時	10:15~ 10:25	53	49	47	○			
B (東)	施設停止時	7:04~ 7:14	56	55	53	○			
	施設稼働時	10:20~ 10:30	60	58	57	○			
C (北)	施設停止時	7:35~ 7:45	59	57	55	○			
	施設稼働時	10:40~ 10:50	63	61	60	×			
D (西)	施設停止時	7:08~ 7:18	53	52	50	○			
	施設稼働時	10:41~ 10:51	62	59	58	×			

注1) C地点及びD地点において、施設稼働時に自主基準値を超過していた。C地点では、周囲の工場や道路の騒音等により、敷地内からの発生音を判別することはできなかった。
また、D地点では、敷地内からの施設稼働音、重機稼働音が確認された。
その他の地点においては、主節稼働時・停止時ともに自主規制値以下であった。

2) 振動レベル 測定地点：敷地周囲 ※施設稼働時；重機6台が稼働し、施設は稼働

単位：デシベル

測定地点	稼働状況	測定時間	振動レベル			適否	自主規制値	東京都環境保全条例に基づく規制基準	測定機関 (測定年月日)
			80%レンジ上端値	中央値	80%レンジ下端値				
A (南)	施設停止時	7:27~ 7:37	31	<30	<30	○	60	都市計画法上の工業専用地域にあるため、東京都確保条例の規制基準は適用されない。	(株)環境管理センター (2023. 4. 13)
	施設稼働時	10:15~ 10:25	39	36	34	○			
B (東)	施設停止時	7:04~ 7:14	35	33	32	○			
	施設稼働時	10:20~ 10:30	46	45	44	○			
C (北)	施設停止時	7:35~ 7:45	36	34	32	○			
	施設稼働時	10:40~ 10:50	42	41	39	○			
D (西)	施設停止時	7:08~ 7:18	<30	<30	<30	○			
	施設稼働時	10:41~ 10:51	42	41	39	○			

注1) 全ての地点において、施設停止時・稼働時ともに自主規制値以下であった。

3) 作業環境測定（粉じん）結果

No.	単位作業場所		測定項目	測定数	評価値等			管理区分	測定機関 (測定年月日)
	名称								
1	ダンピングヤード	粉じん	21	幾何平均値	M1	0.04	1	(株)環境管理センター (2023. 6. 16)	
				幾何標準偏差	σ1	2.35			
				管理濃度	E	1.03			
				第1評価値	EA1	0.22			
				第2評価値	EA2	0.07			
				B測定値	CB	0.10			
2	手選別室 (ミスト噴霧無)	粉じん	11	幾何平均値	M1	0.07	1	同上 (2023. 6. 16)	
				幾何標準偏差	σ1	2.21			
				管理濃度	E	1.30			
				第1評価値	EA1	0.37			
				第2評価値	EA2	0.12			
				B測定値	CB	0.08			
				幾何平均値	M1				
				幾何標準偏差	σ1				
				管理濃度	E				
				第1評価値	EA1				
				第2評価値	EA2				
				B測定値	CB				
				幾何平均値	M1				
				幾何標準偏差	σ1				
				管理濃度	E				
				第1評価値	EA1				
				第2評価値	EA2				
				B測定値	CB				

注1) ①「ダンピングヤード」の測定結果は第1管理区分である。この状態の維持に努める。
②手選別室内の測定結果も第1管理区分である。この状態の維持に努める。

4) 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

測定地点：敷地周囲

4)-1 大気環境測定（石綿：アスベスト）結果

(株)環境管理センター試験完了報告日：(2023. 5. 23)

試料名称 (敷地周囲)	南側敷地境界 (A)	東側敷地境界 (B)	北側敷地境界 (C)	西側敷地境界 (D)	試験方法	定量 下限値 及び 単位
採取年月日	2023. 4. 13	2023. 4. 13	2023. 4. 13	2023. 4. 13		
採取時間	09:00~13:00	09:10~13:10	09:03~13:03	09:10~13:10		
資料種別	大気	大気	大気	大気		
総繊維数濃度	1.50	1.60	5.20	1.10	気中石綿測定分析 アスベストモニタリング マニュアル(第4.0版)(平 成22年 環境省水・大気環 境局) ろ紙採取 位相差顕微鏡 による計数法	0.056 本/L

記) 調査の結果、敷地境界4地点の全4地点での総繊維数濃度が1.0本/L以上であったことから、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行いました。

4)-2 試験方法

アスベストモニタリングマニュアル(第4.0版)に基づき、観察を行った。

前処理：メンブランフィルター/カーボンペースト含浸法

分析装置：走査電子顕微鏡-エネルギー分散型X線分析装置(SEM-EDS)

観察倍率：1000倍(EDS測定時は適宜倍率を調整した。)

加速電圧：15kV

試験項目	試料名称 (敷地周囲)	南側敷地境界 (A)	東側敷地境界 (B)	北側敷地境界 (C)	西側敷地境界 (D)	検出 下限値 及び 単位
	採取年月日 及び時間	2023. 4. 13 09:00~13:00	2023. 4. 13 09:10~13:10	2023. 4. 13 09:03~13:03	2023. 4. 13 09:10~13:10	
クリソタイル		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アモサイト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
クロシドライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
トレモライト /アクチノライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アンソフィライト		<0.11	<0.11	<0.11	<0.11	0.11本/L
アスベスト繊維濃度合計		0	0	0	0	—

※本調査では、全4地点で総繊維数濃度が1.0本/L以上であったため、電子顕微鏡によるアスベスト繊維数濃度の調査を行った。4地点とも石綿(アスベスト)繊維は検出されなかった。

4)-3 石綿(アスベスト)含有率測定結果

試料名称		機械室の堆積粉じん		
試験項目(単位)		試験結果	測定機関 (採取年月日・時間)	
定性分析	エックス線回析法	クリソタイル	不検出	(株)環境管理 センター 2023. 4. 13 9:10
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
	分散染色法	クリソタイル	不検出	
		アモサイト	不検出	
		クロシドライト	不検出	
		トレモライト /アクチノライト	不検出	
		アンソフィライト	不検出	
アスベスト検出の有無		無		

注1) エックス線回析法(定性分析)における不検出とは、石綿回析線ピークが認められないことをいう。

注2) 分散染色法(定性分析)における不検出とは、3000粒子中の石綿繊維が4繊維未満であることをいう。